

平成20年7月25日

# 貧酸素水塊速報 (2008年)

【発行】○ 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議  
 【協力】○ 神奈川県水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会  
 千葉県環境研究センター ○ 東京都環境局  
 第三管区海上保安本部 ○ 千葉灯標モニタリングポスト  
 国立環境研究所

(今回の速報は“○”の機関の観測データを使用して作成しました)

## 平成20年7月22日観測結果

底層は引き続き強く貧酸素化しており、南部とごく浅場以外はほぼ全域が貧酸素水塊に覆われていました(図1)。縦断ラインでは、中央部の深場付近で海底から5~10mの厚さで貧酸素水塊が分布していました(図2)。貧酸素水塊の規模はおよそ40%であり、6月から継続して例年以上の規模を示しています(図3)。

内湾奥部に濃い赤潮が見られ、同海域の水色は褐~紅褐色、透明度は1m以下でした。

水温は表層25~29℃、底層16~26℃、水深が10m以上の海域では表層と底層の水温差が10℃以上に達していました。

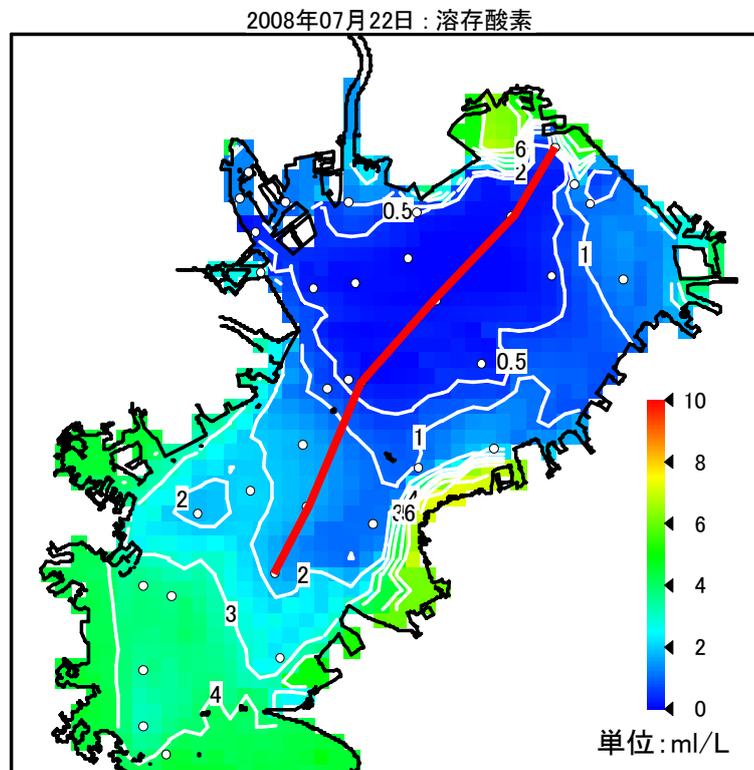


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

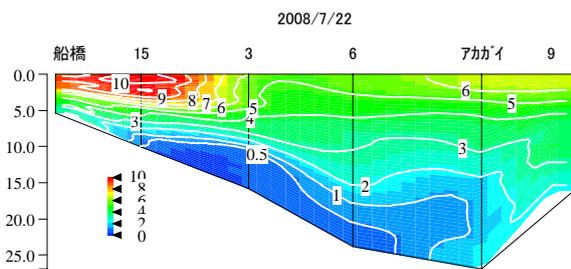


図2 縦断ライン(上図赤線)でのDO鉛直分布

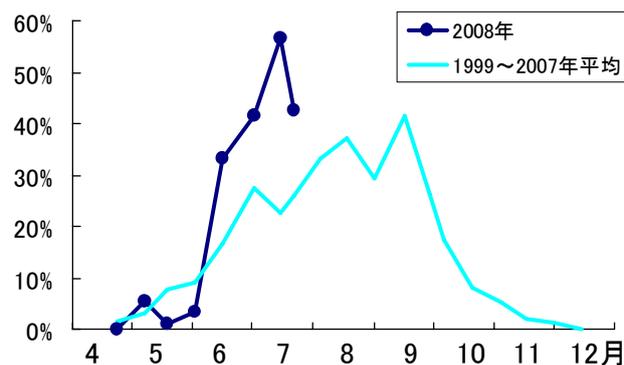


図3 貧酸素水塊の規模  
(左図で貧酸素水塊(2.5ml/L以下)が占める割合)